

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025/3/31				
リッケ ラボ（保育所等訪問支援）						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		利用契約時や加算等で、負担額に変更がある場合に説明している。	引き続き、丁寧に説明していく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		導入会議の際に、事業の趣旨や目的について説明を行っている。	引き続き同様の対応を行っていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		支援計画を作成する際に、面談や本人からの聞き取り等アセスメントしながら日々の支援でもこどもの意向も確認しながら支援を行なっている。	引き続きこどもや保護者の意向を確認しながらサービスの提供にあたる。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		支援計画の内容を確認してもらい、同意を得ている。内容に変更の希望がある場合は修正している。	引き続き、丁寧に説明し計画の同意を得ていく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		保護者からの希望や、事業所が必要を感じた場合に定期面談とは別で機会を設けて助言や話し合いを行なっている。	引き続き、丁寧な支援を行なっていく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		3	令和6年度は開催できていない。	令和7年度に開催できるよう持ち方を検討し計画を進める。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		苦情に対する体制の整備をおこなっている。	常に苦情解決の窓口の体制を確認する。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		HPやSNSを通じて活動やイベントの様子を発信している。	周知回数を増やすほか、内容も改善を進めていく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		ネットやPCにセキュリティをかけている他、紙媒体の資料についてはキャビネットに保管している。	引き続き、十分に注意する。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		こどもや保護者に対して、理解し職員で共有して配慮して情報伝達を行なっている。	引き続き、十分に行き届いた配慮を行う。
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		授業中や保育時間になかなか時間が取れないため、別途時間を設けることもある。	引き続き同様の対応を行っていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		モニタリングやその他サービス担当者会議の機会を設けている。	引き続き同様の対応を行っていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		月の訪問記録をもとに毎月保護者へ支援内容を説明してる。	引き続き同様の対応を行っていく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		ネットやPCにセキュリティをかけている他、紙媒体の資料についてはキャビネットに保管している。	引き続き、十分に注意する。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		授業中や保育時間になかなか時間が取れないため、別途時間を設けることもある。	引き続き同様の対応を行っていく。
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各マニュアルを策定して、職員に周知している。	今後保護者に周知をする場面を設けていくように努める。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全マニュアルを作成し、定期的に事業所の安全確認を行なっている。	安全計画を毎年見直し、環境や利用児童にあったものにアップデートしていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・ヒヤリハットはすぐに共有し対応についての検討を行っている。また、定期的にまとめとしてヒヤリハットを共有し対策後の振り返りを行っている。	引き続き、ヒヤリハットを共有し、対応策の検討を継続していく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		社内の虐待防止研修の他、外部の虐待防止研修に参加する等の機会を設けている。	引き続き、研修を進める他、お互いに日々の虐待防止に向け全員で連携して支援にあたる。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束が必要な該当児童がいない。	今後該当児童を受け入れる場合に、必要な対応を適切に行う。